ここまで進んだ
整形外科最新治療

長引く足、肘、肩、膝の痛みに…。
体外衝撃波治療

注射・切開なしで痛みを取り、組織を修復する「収束型」体外衝撃波治療

体外衝撃波治療の適応セルフチェック

- □ 足の裏が歩くといつも痛い（足底腱膜炎）
- □ 夜間突然肩の痛みで目が覚めた（肩石灰性腱炎）
- □ テニスで肘の外側が痛くなる（テニス肘）
- □ 膝の内側の下の方が痛い（膝鵞足炎）

●体外衝撃波治療とは？

衝撃波を痛みのあるところに皮膚の上から照射することで『除痛効果と組織修復』が期待できる、整形外科領域では新しい治療法です。欧米ではスポーツ選手の膝や足の腱・靭帯損傷などに積極的に使用されており、効果が証明されています。体操男子の内村航平選手が世界選手権直前に右足の靭帯損傷を短期間で治療したことでも知られています。衝撃波は筋肉と脂肪は通過し、体内深くにある患部のみピンポイントに当てることが可能です。当院では、この焦点を絞って衝撃波を照射できる「収束型」の体外衝撃波装置を導入しています。

衝撃波を傷ついた組織に当てることで、痛みの原因となっている有害な神経線維を減らし、細胞の骨形成や腱付着部の血管新生を誘導し組織修復を促します。注射などの炎症を一時的に軽減する治療と異なり、組織の再生が期待できる治療法なので、慢性的な痛みを軽減する治療として使われているのです。

難治性足底腱膜炎

●どんな症状に有効？

足底腱膜炎・テニス肘・肩石灰性腱炎・膝鵞足炎をはじめ、腱だけではなく、筋肉や骨・皮膚など体の様々な部位の疼痛治療に活用されています。

●体外衝撃波治療のメリット

最大の利点は、柔らかい照射パッドの先端にジェルを塗って皮膚に軽く当てるだけで注射や切開などが必要ないことです。テニス肘や肩石灰性腱炎で、痛みを取って欲しいけど注射は絶対嫌だという方には良い方法です。1回の治療時間は約10分で麻酔は不要、当日の入浴も可能です。治療頻度は1週に1回、原則3回で終了です。

●最後に

体外衝撃波治療は注射などをせず、損傷した組織を新たに作り直す治療です。痛みが長く続いている方はぜひ一度診察にお越しください。

膝鵞足炎

肩石灰性腱炎

テニス肘

体外衝撃波治療が有効な疾患

- ■難治性足底腱膜炎（保険適用あり）
- ■腱障害：肩石灰性腱炎、テニス肘、膝鵞足炎、アキレス腱炎など
- ■骨障害：疲労骨折、シンスプリント、オスグッド病、有痛性外脛骨など
- ■筋障害：筋膜炎、筋挫傷など
- ■皮膚障害：皮膚潰瘍など

清泉クリニック整形外科
院長　橋本（はしもと）　卓（たかし）

医学博士、日本整形外科学会専門医・日本専門医機構認定整形外科専門医、日本肩関節学会代議員、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会評議員

健康増進セミナー

参加費無料

[場所]清泉クリニック整形外科 福岡内

- ▶9/12（土）14:00～（所要時間約1時間）　体外衝撃波治療（収束型）について
- ▶9/26（土）14:00～（所要時間約1時間）　成長期の痛み・スポーツ障害について

予約方法
セミナーに参加される方は、事前にお電話でのお申込をお願いいたします。

清泉クリニック整形外科 福岡
福岡市東区香椎1-1-1ニシコーリビング香椎1階

お問い合わせ
☎092-410-1800
【受付時間】平日8:30～12:30／14:30～18:00